

第5回 八王子市男女共同参画推進審議会 会議録

会 議 名	第5回 八王子市男女共同参画推進審議会	
日 時	令和8年(2026年)2月5日(木) 午後6時30分から午後7時22分	
場 所	八王子市生涯学習センター 10階 第2学習室	
出席者氏名	委 員	八木橋宏勇会長、齊藤静子副会長、伊藤洋二委員、清水栄委員、田中十代子委員、萩原幸枝委員、藤野早織委員
	説 明 者	—
	事 務 局	松本美保子男女共同参画課長、宮野努男女共同参画課主査、横井陽子男女共同参画課主査、神田央子男女共同参画課主任、岩瀬弘明男女共同参画課主任、加藤優花男女共同参画課一般職員
	そ の 他 市側出席者	—
欠席者氏名	荒木紀行委員	
議 題	1. 開会 2. 議事 (1) 男女が共に生きるまち八王子プラン(第4次)における令和6年度(2024年度)取組状況に関する評価等について 3. その他 4. 閉会	
公開・非公開の別	公開	
非公開理由	—	
傍聴人の数	2名	
配付資料名	資料1:男女が共に生きるまち八王子プラン(第4次)令和6年度(2024年度)評価報告書(案) 資料2:答申(案)	
議事内容	次ページ以降のとおり	

【議事内容】

1. 開会

- 八木橋会長 ・ 令和7年度第5回八王子市男女共同参画推進審議会を開会する。
・ 配布資料について事務局より説明をお願いする。

～資料の確認～

- 八木橋会長 ・ 本日の審議会開催は、午後8時30分までである。
・ 次に、出席人数、会議の成立について確認する。
・ 本審議会は、八王子市男女共同参画推進条例施行規則第4条第2項により、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
・ 本審議会は8名の委員で構成し、本日の出席は7名であり、過半数の出席があるので、本審議会は成立している。

- 八木橋会長 ・ 次に、会議の公開についてである。
・ 八王子市男女共同参画推進条例施行規則第4条第4項には、審議会が、「公開することは適当ではない」事案であると考えられる場合には非公開にできるが、原則的には、公開であると規定されている。
・ 本日の審議会は「公開」することでよいか。

～異議なし～

- 八木橋会長 ・ 本日の審議会は公開とする。
・ 傍聴者の入室を、現時点より認める。傍聴希望者はいるか。

- 事務局 ・ いる

～傍聴者入室～

2. 議事

- 八木橋会長 ・ 次に、次第2「議事」に入る。
・ 「議事（1） 男女が共に生きるまち八王子プラン（第4次）における令和6年度（2024年度）取組状況に関する評価等について」である。
・ 諮問された「男女が共に生きるまち八王子プランに基づく、男女共同参画の推進に向けた取組状況及び効果的な方策に関すること」について、令和6年度に各所管で取り組んだ内容を確認しながら、これまで審議をしてきた。
・ 皆様からの意見を齊藤副会長と共に、資料1の「男女が共に生きるまち八王子プラン（第4次）令和6年度（2024年度）評価報告書（案）」と資料2の市長宛に提出する「答申（案）」として取りまとめた。
・ 本日は、資料を確認しながら、修正や追加について意見をいただきたい。
・ 事務局より資料1・2について説明をお願いする。

- 男女共同参画課長 ・ 資料1については、前回の審議で皆様からの追加や修正の意見を反映し、会長、副会長により確認をいただき作成した。この後、改めて皆様にも確認をお願いする。
・ 資料2は、市長に提出する答申（案）だが、評価報告書（案）をもとに、事務局で案を作成し、会長、副会長の確認をいただいた。これもこの後、内容の確認をお願いすることとなる。
・ 最後に、配布した黄色いチラシは、藤野委員に講師を依頼している包括的性教育

講座のチラシである。2月2日に募集を開始したが午前中にはほぼ定員に達し、先着順であったため1日で募集終了となった。

- 八木橋会長
- ・事務局の説明は終わりました。
 - ・それでは、資料1の「男女が共に生きるまち八王子プラン（第4次）令和6年度（2024年度）評価報告書（案）」について確認したい。
 - ・まずは、4ページから6ページの9つの「指標」だが、ここは、前回の審議会で確認をし、指標9について、前回、修正があった。
 - ・その内容は、2週間以上、育児休業を取得した男性職員の割合の現状値が「82.8%」から「75.3%」に修正されたものである。
 - ・これに伴い、市の評価は、「A」から「B」に、市の考えは、「目標値に迫る状況にあるため」から、「少しずつではあるが増えているため」に修正された。
 - ・それを受け、審議会では評価を「B」にし、審議会の意見は「目標達成に向けて少しずつでも 着実に推進していくことを期待する」とした。
 - ・指標について、修正や補足はあるか。

～修正等意見なし～

- 八木橋会長
- ・次に、7ページから22ページの「重点目標1」についてである。
 - ・「男女共同参画推進審議会の意見」は、11ページ、17ページ、19ページ、22ページに記載されている。
 - ・この内容について、再度確認をしたい。
 - ・前回の審議会では、意見を頂いていなかった17ページの取組番号5、7と22ページの取組番号11について、意見を頂戴した。
 - ・これらを含め、修正や補足はあるか。

～修正等意見なし～

- 八木橋会長
- ・次に、23ページから37ページの「重点目標2」についてである。
 - ・「男女共同参画推進審議会の意見」は、27ページ、29ページ、33ページ、37ページに記載されている。
 - ・この内容について、再度確認をしたい。
 - ・前回の審議会では、意見を頂いていなかった27ページの取組番号13、15、16について、意見を頂戴した。
 - ・これらを含め、修正や補足はあるか。

～修正等意見なし～

- 八木橋会長
- ・次に、38ページから67ページの「重点目標3」についてである。
 - ・「男女共同参画推進審議会の意見」は、41ページ、45ページ、50ページ、53ページ、55ページ、58ページ、63ページ、67ページに記載されている。
 - ・この内容について、再度確認をしたい。
 - ・前回の審議会では、意見を頂いていなかった45ページの取組番号27、50ページの取組番号30、63ページの取組番号37、38、67ページの取組番号40、42について、意見を頂戴した。
 - ・これらを含め、修正や補足はあるか。

～修正等意見なし～

- 八木橋会長
- ・最後に、資料2答申（案）についてである。
 - ・答申（案）は、「Ⅰ はじめに」、「Ⅱ」は第4次プランと同様に「指標、重点目標1・

- ・2・3」ごとに意見を記載、そして「Ⅲ おわりに」という構成になっている。
- 八木橋会長
 - ・この内容に修正や補足したいことはあるか。感想でも結構である。
 - ・1ページの「2」の冒頭に指標への言及がある。その内容は指標「1、4、5」と「6、9」は「良好に」「概ね」進捗していると書かれており、指標「2、7、8」のうち新規相談件数のところや人事に関わるところは、「あまり進捗していない」となっている。
 - ・クリアに進捗していないところと進捗しているところが見えてきて、ある程度傾向が見えてきたことは今回の評価での大きな特徴かと思う。
 - ・また、これまでの審議会では、私が発言していたこともあるからかもしれないが「アンコンシャス・バイアス」という言葉がかなり出てきていた。しかし、この答申（案）にはこの言葉が出てきてない。例えば指標の「1、4、5」だが、男女共同参画が進んでいると思う人の割合などの「意識」に関する部分では、評価がやや良くなっているようで、アンコンシャス・バイアスとあえて言わなくてもよくなってきているのかとも思われる。
 - ・つまり意識に働きかけるといことは本当に難しいわけだが、この結果はもしかすると成果が出てきているとの解釈ができるのかもしれない。そうであれば、このことは取組としては非常にうれしい結果だと思う。
- 男女共同参画課長
 - ・評価報告書（案）の「審議会の意見」としては、19ページの「子どもの頃からの意識醸成」には記載があるが、答申には会長のおっしゃるとおり記載はない。
- 八木橋会長
 - ・これは意図して行ったことではないのでよい傾向だと思うが、一方で言い続けなければ忘却される可能性もある。
 - ・意識しなくてもこのような結果になったことをポジティブにとらえたい。
- 齊藤副会長
 - ・必要な人に必要な情報が届くように発信していくということだが、審議会の中でも情報発信と同時に具体的にその情報が届くようなアウトリーチを考えていくこともあった。
 - ・答申（案）の3ページ「4 重点目標3」「取組3-2」の3段落目に「また、市の各種支援情報に辿り着けるよう複数のツールを利用し発信することも大切です。」とあるが、ここにプラスして「届くようなアウトリーチ」を仕掛けるとか、例えば、具体的にはフードバンクや子ども食堂の場所にチラシを配架することなども必要ではないかと思っている。
- 八木橋会長
 - ・今の意見は、答申（案）3ページ目、「Ⅲ おわりに」の2段落上である。
 - ・これは、ツールを使って情報が行き届くようにということではあるが、ある程度主体的に働きかけなければ得られないような、ツールの使い方次第というところでもあるが、齊藤副会長からはもう少し何か記載できないかとの意見であった。
- 齊藤副会長
 - ・届けることはとても難しいことだと思うが、それでもそれを進めていくためには必要である。
 - ・例えば、相談窓口があること自体も知らない人がいたり、相談へのハードルが高い人もいる。周りの大人が窓口や支援についての情報を知っていて「行ってみたら」と後押しをしたり、ほかの周りの大人への働き掛けということもあると思う。
- 男女共同参画課長
 - ・アウトリーチと言っていいのかわからないが、発信だけでなく、携わる人のところに出向いたり説明にも行っている。
- 齊藤副会長
 - ・アウトリーチでよいと思うので、それを記載しておくとうよいと思う。
- 男女共同参画
 - ・関係する人との連携をさらに強めてほしいというような表現で考えてみる。

画課長

八木橋会長

- ・困難を抱える女性等への支援は様々な世代や状況の方々がいると思うので、確かにSNS 一辺倒というわけにはいかない。
- ・出向いたり、チラシを配架したりすることで、あえて見ようとしてなくても目に飛び込むことできっかけになることもあるので、もう少し付け加えられたらと思う。
- ・また、最近では、困ったときの相談先がチャットGPTである人が増えている。大学生もレポートを書くときにも手軽なので聞いている。
- ・AIが情報を持っていれば、適切、妥当と思われるアドバイスがもらえる可能性はあるが、情報を持っていないと不正確な情報を平気で出すことがある。
- ・生成AIに情報をどう学ばせるかということが行われているが、相談などの対応も積極的に学ばせて、育てて、生成AIが導いてくれることを考えないといけない段階にあると思う。
- ・今後、生成AIに頼る人、生成AIネイティブが増えてくる。デジタルにも目を向け、SNSにもきちんと対応して、従来型のチラシや直接会って話すことなども行いながら複層的なアプローチが必要になってきている。

男女共同参画課長

- ・来年度には福祉分野でAIチャットボットによる相談アプリを行う予定で、男女共同参画センターも加わる予定である。
- ・昨年には実証実験を行った。とても寄り添った回答であった。
- ・元々はチャットGPTだが、そこに心理の専門家などの知識を入れ込んでいるようである。

八木橋会長

- ・それにアクセスしてもらい上手くいくとよいと思う。一方で、兎に角、相談はチャットGPTということになると、情報を望むように仕向けることが懸念される。
- ・小学校では生成AIのことへの対応はしているのか。

萩原委員

- ・八王子市では子どもたちに「相談できる大人がいますか」というアンケートを毎年複数回行っている。そして、お父さん、お母さん、担任、養護の先生など、私たちから相談できる人をつくってあげ、相談できる人がいないこととならないように進めている。
- ・小学生なのでAIに聞くというのは6年生などでないと難しいと思う。

八木橋会長

- ・ありがとうございました。
- ・齊藤副会長からいただきました意見を反映し、私と副会長とで「男女が共に生きるまち八王子プラン（第4次）令和6年度（2024年度）評価報告書」と「答申」を作成してよろしいか。

～異議なし～

八木橋会長

- ・ありがとうございます。
- ・作成のうえ市長に提出する。

八木橋会長

- ・時間があるので、男女共同参画に関する課題や気になる事例など、意見交換ができたらと思う。
- ・本審議会にはいろいろな分野から委員が選出されているので、違った観点から見ると同じ事象でも様相が異なって見えることもあるので、意見や提案があれば発言をお願いする。

藤野委員

- ・子どもたちが相談できる人をつくっていくという話があったが、相談される側の大人が心構えをできるような場があったらよいと思っている。

- ・私が性教育の講座に参加する際には、「困ったときは相談してね」という言葉を言わないようにしている。男女共同参画の相談先などが必要な人に届くとよいという話があったが、私は届かないと思っている。必要な人に届くことは難しいので、相談よりも雑談ができる人、そのような大人でないと子どもはきっと話さないと思う。
- ・子どもたちが相談をできる大人を探すというよりは、大人が子どもに関心を向け、大人に話すことできっと気持ちが楽になるとも思う。
- ・子どもたちには、相談することを教え、導くのだが、そういう心構えを大人同士で話せたり、大人と子どもと一緒に話せる時間が小学校からあるとよい。
- ・相談への不用意な一言で、話ができなくなることがあると聞いている。相談しても相談者にとっては全く意図しない意見をもらうと、心を閉ざして誰にも相談できないとも聞いている。
- ・いろいろな事象に対して知識を蓄え、内容ごとに行ってはいけないことを知っておかなければならないことはなかなか難しいと感じている。
- ・何かをしてはいけないでは、大人もしんどくなってしまう。「こう考えるといい」というHOWTOではないが、そういうことを大人同士でたくさん話せる場所があるとよい。
- ・保育の現場でも、不適正、性暴力などにならないかとか、男の先生と女の子が二人きりになってはいけないとか、いろいろある。「こうあるべき」「こうでなくてはいけない」により先生たちは疲れてしまっている。それよりも「こうだといいいね」という真ん中を大切にしたい。
- ・大人同士で「あの時こうだったけれどどうだったんだろう」とか、「次はどうしたらよいだろう」とかを考えられる大人の関係性ができるとうい。それをどう皆で、子どもたちのために、準備できるかを大人で考えることができる雑談できる場所があればよいと思う。
- ・男女共同参画課だけでとはならないが、子ども食堂にはたくさん人が集まり会話をしている。講座ではないが集まれる機会があったりする。子どもが来て、大人がいて、宿題を見たり遊んだりしているので、そこで「こんなことはありませんか」のようなものを配れるとういと思う。
- ・男女共同参画課でコミュニケーション講座をした際もすぐに定員を超えるので、コミュニケーション関係でコンプレックスを持っている方は、市民の中にも多いと感じている。
- ・そもそも大人同士の会話がうまくできないという方もいらっしゃるので、コミュニケーションは永遠のテーマだと思う。
- ・子ども食堂などへの働きかけは考えてみたい。
- ・コミュニケーションには人それぞれでスタイルがあり、伝わり方、伝わらないこと、伝わらなくていいこと、伝わってしまうこと、これは本当にコントロールすることが難しい。思わぬとられ方をしてしまってもどうしようもできなくなることとても多い。
- ・先ほど藤野委員からお話があったように雑談から入るコミュニケーション、俗に言うスモールトークだが、これは鉄板と言ってもよいぐらいのものである。それによって心理的な安全性が助長されてくるので、少しずつお互いが心を許せる安心感という状況ができてくれば、多少のすれ違いがあっても、その安心感、心理

市民活動推進部長

藤野委員

男女共同参画課長

八木橋会長

的安全性が軌道修正してくれる。これをどのように醸成していくのがよいか、これはある意味、人間関係の構築になるが、非常に重要なポイントである。

- ・人は100人いれば100通りの考えがあると言ってもよいぐらいなので、大変なことではあるが、重要なポイントである。
- 男女共同参画課長
- ・今年度での男女共同参画課での動きとして、まず男女共同参画、困難女性支援法、共同親権の3つのテーマで男女共同参画の研修を管理職向けに行った。講師は静岡県立大学の犬塚教授で、東京ウィメンズプラザの講師もやられている方である。
 - ・受講後の感想では、意外と女性管理職の方が男女共同参画が進んでいるという回答があった。男性管理職の中には全く進んでいないという意見もあり、意外に感じた。
 - ・2つ目は、学園都市センターへ大学コンソーシアム加盟大学と男女共同参画センターとが連携して何かできないかを相談に行った。大学側も学生の獲得は喫緊の問題であるため、理系の学科を持っている大学のリケジョ女子大生と小中学生のキャリアの話などの座談会開催や学生がキャリア、仕事につなげるという発想を若い頃からのものであれば大学側、学生側にとってもよいのではないかとのことであった。

- 八木橋会長
- ・リケジョという言葉はかなり前からある。大学の中でもものすごく女性が多いのが看護、医学部などの分野である。これは悪いことではなくむしろ望ましいと思うが、一方で本当に少ない分野もあるようだ。リケジョは工学系、理学系でよく使用されるかと思う。その分野のことはよくわからない高校生もいるだろうから、キャリア、全体像が見えるような企画は非常に有意義だと思う。
 - ・また、医者や看護師は、ドラマや実生活の中での経験により、表向きわかっている、見えている部分が多く、自分が持っているイメージのまま入学して、それとは違っていたということもあるようだ。そういう意味ではトータルのキャリアパスのようなものを行うことはとてもよいと思う。
 - ・どこの大学も男女共同参画推進室やダイバーシティ戦略本部があるだろうから、その窓口に直接つながった方が話が進むのではないかと思う。

3. その他

- 八木橋会長
- ・次第3、その他である。
 - ・今後の審議会について、事務局より説明をお願いする。
- 事務局
- ・令和7年度の審議会は本日で終了
 - ・委員の任期は令和9年（2027年）4月30日まで
 - ・令和8年度も令和7年度（2025年度）に所管が取り組んだ男女共同参画に関する取組内容に基づきご審議していただく予定。
 - ・令和8年度の開催日程等については、後日、調整のうえご連絡する。

4. 閉会

- 八木橋会長
- ・令和7年5月に市長から諮問され審議してきた内容は、本日で終了となる。
 - ・以上で本日の審議会は終了する。